

2022年 秋期 特別支援教育支援員（学習支援員） 養成講座 応募要項

9月19日～10月29日、7日間とも土日祝日です

コロナウィルス感染対策をして、養成講座を行います

「子ども支援室カシオペア」ホームページのブログ、Facebook に講座の写真あります

NPO法人子ども支援室カシオペア
ディスレクシア協会名古屋

コロナウィルス感染予防対策をして、養成講座の受講生募集を行います

マスク着用、アルコール消毒、検温、換気、3人掛け長机の中央席は使わず両端に座り距離をとる等のコロナ感染予防対策をして、2022年秋期特別支援教育支援員養成講座を行います。

今後、コロナウィルスの状況によっては、直前であっても、講座を中止することがあります。主催者側の判断で中止した場合は、該当した講座の受講料を計算し、返金することをお約束して受講生募集を行います。

養成講座のねらい

小・中学校の通常学級で、特別な支援を必要とする子をサポートするため、特別支援教育支援員が、2007年(平成19年)から配置され始め、今では全国平均で1校に2人、市町村によっては1校に2人以上配置されています。名古屋市では、2011年から「発達障害対応支援員」の配置が16校各校1人で始まり、年ごとに増え、2015年は57人、2016年に大幅増員で379人、2017年度以降は幼稚園23校、小学校261校、中学校110校、全394校に各1人配置されています。

この養成講座は、名古屋市の制度に先駆けて、2010年春に第1期養成講座を実施、その後、春秋の年2回開催、2022年春の第25期養成講座までに計842人の方が修了され、名古屋市をはじめ、愛知県内の小中学校で、多くの方が採用され、活躍されています。この講座の修了生は2010年から市内の小中学校で学習支援ボランティアを開始、今年も緑区の桶狭間小学校など数校に入って活躍しています。

支援員がクラスに入ると、サポートを必要とする子のみならず、クラス全体に変化が表れます。先生はさまざまな対応、指導がしやすくなります。支援員は、一人ひとり違う個性豊かなLD(学習障害)、ADHD(注意欠陥・多動性障害)、ASD(自閉スペクトラム症)などの子どもたちについて理解と対応スキルを学び、その学校の指導方針(個別指導計画)を理解し、先生方の指示を受けて支援する力量が必要になります。

発達障害のある子は何に困っているのか、その原因は何か、どのような支援をすればよいのか、現場で役に立つ支援員を養成するために、今回も、さまざまな分野の専門の先生方にご協力いただきます。

講座内容／実施時期・場所

- ・ 講座内容：別紙のカリキュラムを参照して下さい。
- ・ 実施時期：2022年9月19日～10月29日の7日間、10時～15時30分、全14回の講座。
- ・ 実施場所：「ウィルあいち」(名古屋市東区上野杉町1 地下鉄市役所駅から徒歩5分)

受講生の条件

- ①発達障害について多角的に学び、子どもの支援に役立てたい人
(保護者、支援に携わりたい方、支援員、教員、保育士など。地域制限はありません)
- ②講座受講中に知れた個人情報の「秘密保持」について誓約できること
- ③受講料26,000円を前納すること、定員30人

*本講座は名古屋市の「発達障害対応支援員申込書」に、研修28時間として記入することができ、「受講修了証」は、教育委員会に対し、受講を証明する書類になります。

★公開講座(* 印のついている講座)の一般席は5席～10席、ご用意をしています。

公開講座にお申し込みの方は、受講条件はなく、どなたでも受講できます。メールで先着順に受け付けます。1講座(2時間)2,500円です。講座日、講座名、名前、郵便番号、住所、電話、携帯番号、職業を明記し、メールで下記に送信して下さい。

申込受付の手順

- ① **7月20日までに**別紙「受講申込書」に必要事項を記述し、郵送、FAX、メール添付にてお申し込み下さい。
申込先【子ども支援室カシオペア】kodomosien@gmail.com電話 052-228-0842FAX052-228-0846
〒456-0024 愛知県名古屋市熱田区森後町 7-14 沼田ビル3階 NPO法人子ども支援室カシオペアホームページ <http://kodomosien.nagoya/> (講座写真掲載。この要項・申込書、ダウンロード可) 受講者には受講決定通知書を7月29日までに送付。受講決定後、受講料は銀行振込で全額納付。
- ② 7月20日の段階で定員に達していない場合は追加募集、順次受付し、1週間以内に受講決定通知を送付。
- ③ ディスレクシア協会名古屋のホームページはこちら。<http://dyslexia-nagoya.org> 読み書き検査も行います。
- ④ ※カシオペアでは月、火、水に学習支援(フリースクール)を行っています。小中高対象。詳細はHPにて。

2022 年秋期 特別支援教育支援員（学習支援員）養成講座の内容（予定）

*印は公開講座になります

回、月日	タイトル	時間	講 師	内 容
(1) 9/19(月祝) 場所：ウィル あいち 3 階 会議室 5	オリエンテー ション	10:00 ～ 12:00	子ども支援室 カシオペア	コースの進め方、その他事務手続き 受講生自己紹介
	* 特別支援教 育支援員の実 際	13:30 ～ 15:30	ディスレクシア 協会 吉田やすえ 松井智子 下森千枝	実際に特別支援教育支援員として、現場で長年活躍されているディスレクシア協会会員 2 人と、10 年間、学習支援ボランティアコーディネーターをしてきた吉田やすえが支援の実際とそのポイントについて話します。
(2) 9/23(金祝) 場所：ウィル あいち 3 階 会議室 5	* 発達障害と は	10:00 ～ 12:00	心理療育研究所 トマニ教室 繁昌成明	40 年にわたる豊かな経験をふまえて、LD、ADHD、自閉スペクトラム症の診断基準その変化、愛着の課題など、発達障害のある人の理解と対応のポイントを学びます。
	* L D 疑似体 験	13:30 ～ 15:30	ディスレクシア 協会名古屋	見る、読む、聞く、話す、書くなどの困難さを体験するプログラムを使い、LD など発達障害のある子に、どのような対応をすることが望ましいかを考えます。
(3) 10/2(日) 場所：ウィル あいち 3 階 会議室 5	* 感覚統合と 作業療法	10:00 ～ 12:00	名古屋刊外教社 会館東部地域療 育センター 作業療法士 水科順子	発達性運動協調障害など、発達に遅れのある子の行動や運動を理解し、改善していくために、感覚統合(感覚情報処理)の理論と作業療法について学びます。
	教室の場面で のロールプレ イ	13:30 ～ 15:30	子ども支援室カシ オペア中久木俊之 ディスレクシア協 会吉田やすえ	子ども、支援員、教師、クラスメイトの関わりを、具体的な場面を想定し、ロールプレイを通して体感します。ワークショップを通じて対応のポイントと問題解決の糸口を学びます。
(4) 10/9(日) 場所：ウィル あいち 3 階 会議室 5	* 心理検査で わかること・検 査結果の支援 への活かし方	10:00 ～ 12:00	桑名発達臨床研 究室 小笠原昭彦	元名古屋市立大学教授の小笠原昭彦先生に、ウィスク(WISC)などの心理検査のしくみとその検査でわかること、検査結果の支援への活かし方について、くわしく教えていただきます。
	* 行動療法の 基礎と実際	13:30 ～ 15:30	中京大学教授 坂井 誠	応用行動分析を中心に、発達障害児への支援につながる行動療法の基礎を学びます。行動の理解、課題分析に基づく、具体的な支援法について話していただきます。
(5) 10/15(土) 場所：ウィル あいち 3 階 会議室 5	* 自閉スペク トラム症の多 様な状態像の 理解と支援	10:00 ～ 12:00	プリズムベル クリニック院長 早川星朗	自閉スペクトラム症の子は、知的理解のレベル、ADHD の併存、こだわる内容の違いなど多様な状態像を示します。アセスメントし、本人の困難さを尊重して支援される早川星朗医師に、どう理解し、どのように支援したらいいか学びます。
	* 子どもの人 権と発達障害 & 早期療育「サ ンライズプロ グラム」	13:30 ～ 15:30	弁護士 岩城正光 Team Lenny 代 表 ドーマン朋子	前半は、CAPNA（子どもの虐待防止ネットワークあいち）元理事長で元名古屋市副市長の岩城正光弁護士に、人権から見た特別支援教育について、後半は家庭での早期療育「サンライズプログラム」についてドーマン朋子さんから学びます。
(6) 10/23(日) 場所：ウィル あいち 3 階 会議室 5	* 学校現場に おける ABA	10:00 ～ 12:00	心理学博士、国際 認定行動分析士 竹島浩司	ABA（応用行動分析）の実際を動画を交えて紹介いただき、学校、家庭、療育で有効に使える支援方法、問題解決への分析方法を学び、学校で何ができるか考えます。
	支援ツール体 験ワークショ ップ	13:30 ～ 15:30	子ども支援室 カシオペア 中久木俊之	行動を支援する支援ツール（視覚表示など）を、子どもに合わせてどのように作成したらよいか、課題分析を活かして具体的な場面での観察、分析、対応の方法を学びます。
(7) 10/29(土) 場所：ウィル あいち 3 階 会議室 5	* 発達に伴う 視覚認知の問 題への対応	10:00 ～ 12:00	視覚学習支援セ ンター代表 加藤元嗣	発達障がい児の視覚認知の発達、視覚発達検査、眼球運動、視覚と学習の関係、効果的なサポート方法など、元キクチ眼鏡専門学校教授で、視覚学習支援センターを開設された加藤元嗣先生にわかりやすく話していただきます。
	まとめ・修了式	13:30 ～ 15:30	子ども支援室カ シオペア・ディス レクシア協会名 古屋	修了生各自の報告、共有

2022年秋期 特別支援教育支援員（学習支援員）養成講座受講申込書

下記のとおり、特別支援教育支援員養成講座の受講を申し込みます。

申込年月日 年 月 日

(ふりがな) 氏 名			
住 所	〒 -		
電 話	()	携帯：	
e-mail			
生年月日・年齢	19	年	月 日 歳
健康状態			
学歴・職歴及び 資格			
現況 (職業、社会活動、 「主婦」等)			
受講希望の理由 (400字以上800 字程度) ※スペースが不足 する場合は別紙添 付可			
講座受講中に知りえた個人情報について守秘義務を守ることについての誓約	する しない		

※・本申込書の記載内容につき直接確認させていただく場合があります

・本申込書に記載された個人情報は、特別支援教育支援員養成講座の業務連絡およびディスレクシア協会名古屋、子ども支援室カシオペアが実施する関連事業のご案内に使用いたします